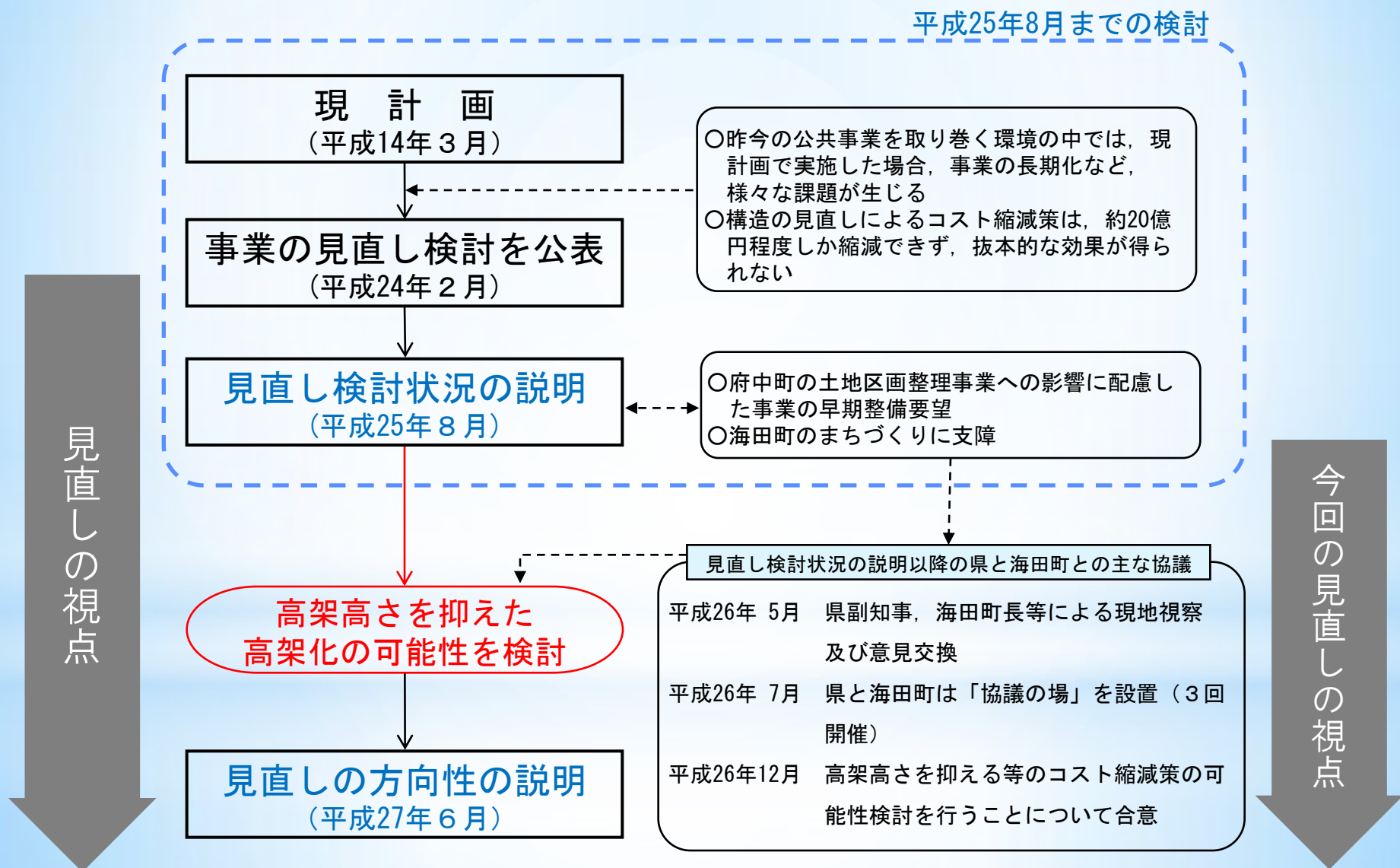


広島市東部地区連続立体交差事業の 見直しの方向性について

平成27年7月
広島市道路交通局
道路部街路課

■ 見直し検討フロー



■ 見直しの視点

見直しの視点

①事業実施手段の見直しによる 事業目的の達成

- 交通の円滑化
- 南北市街地の一体化
- 踏切の安全確保

②事業実施に向けての実現可能性

- 工事期間の長期化の解消,
事業費の縮減など事業規模の
見直し

③土地区画整理事業への影響

- 工事期間の長期化の解消
- 土地区画整理事業の事業計画
との連携

④連立事業の進捗状況

- 買収済用地の活用

今回の見直しの視点

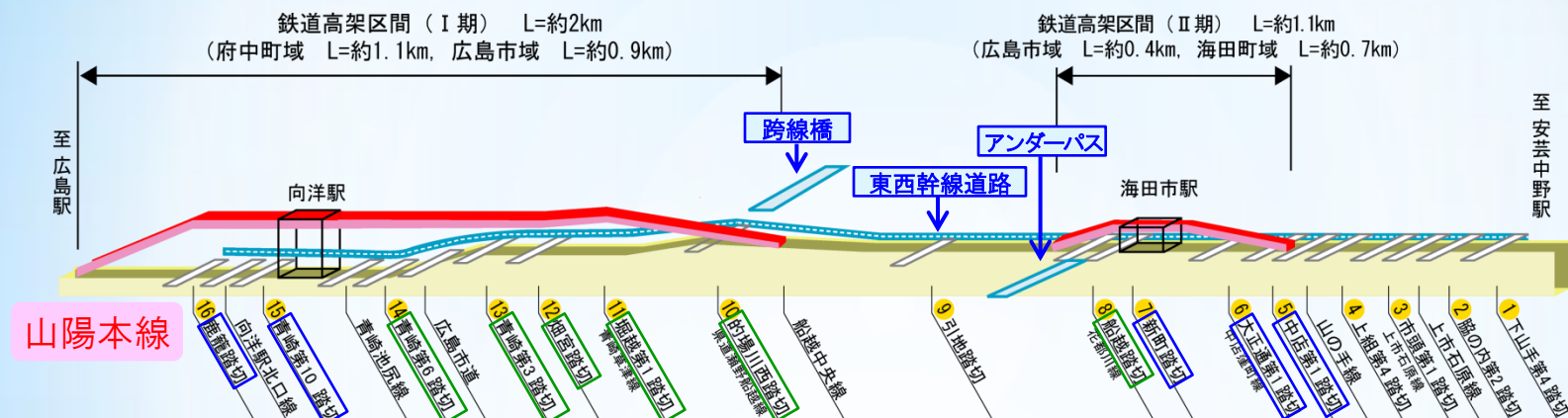
①海田町のまちづくりへの対応

- 土地区画整理事業などの関連事業
と一体となって鉄道を挟む地域の
一体化

②交通特性を踏まえた鉄道の高架化

- 交通量の変化と将来予測
- 大型車の混入率

■ 見直し案の概要



○主な事業内容

鉄道高架区間 L = 約 4 km

[県域 2.7km (府中町域 1.1km, 海田町域 1.6km), 市域 1.3km]

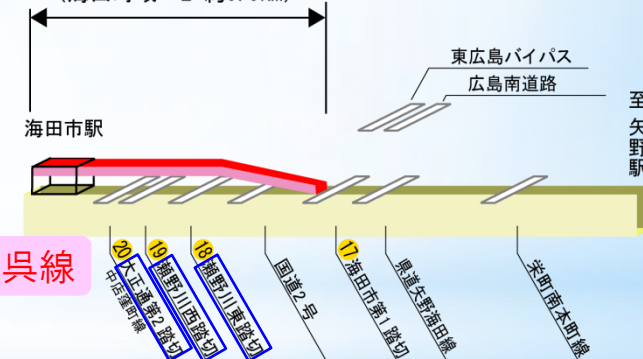
東西幹線道路 : 1 路線

跨線橋 : 1 路線

アンダーパス : 1 路線

踏切除却 : 県域 8 箇所 市域 6 箇所

鉄道高架区 (II期) L=約0.9km
(海田町域 L=約0.9km)



○全体事業費

約 770 億円 (県域 : 約 490 億円, 市域 : 約 280 億円)

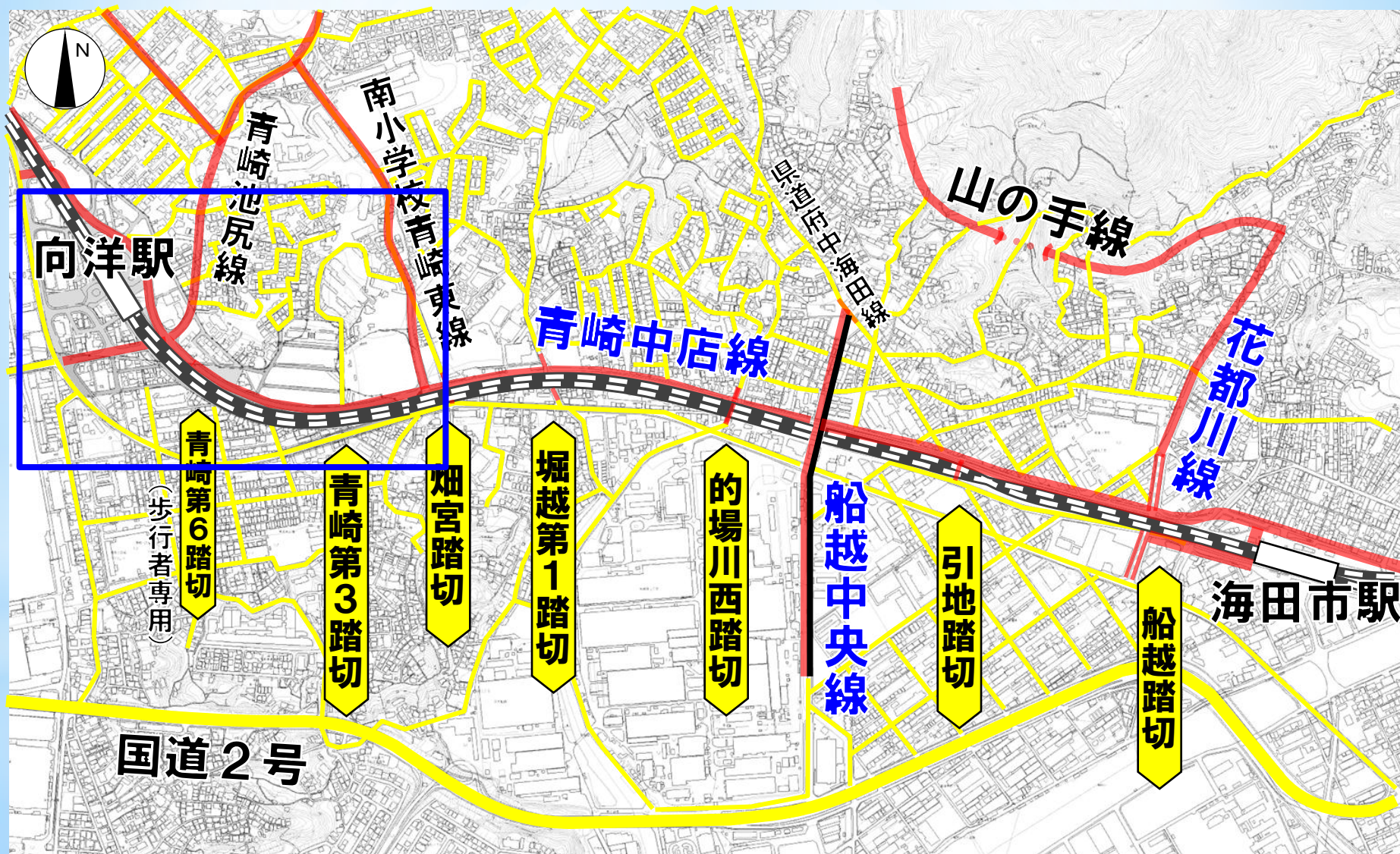
○工事期間

工事着手後 15 年間程度 (I期・II期)

(I期 向洋駅周辺 10 年間程度, II期 海田市駅周辺 10 年間程度)

※ I期工事着手後, 概ね 5 年程度を目途に II期工事に着手する

■ 東西幹線道路，跨線橋，アンダーパス

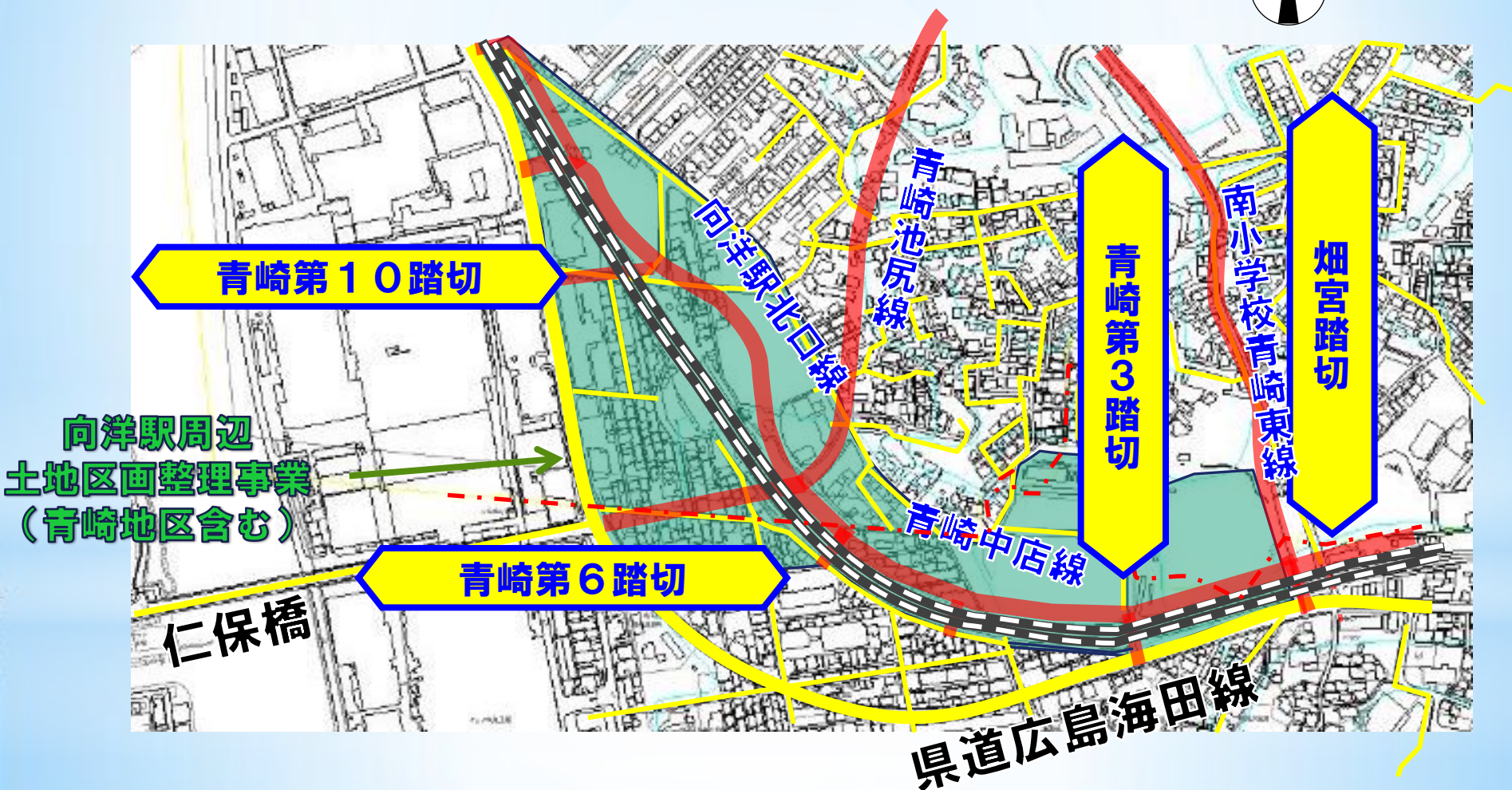


■ 向洋駅周辺

現 況

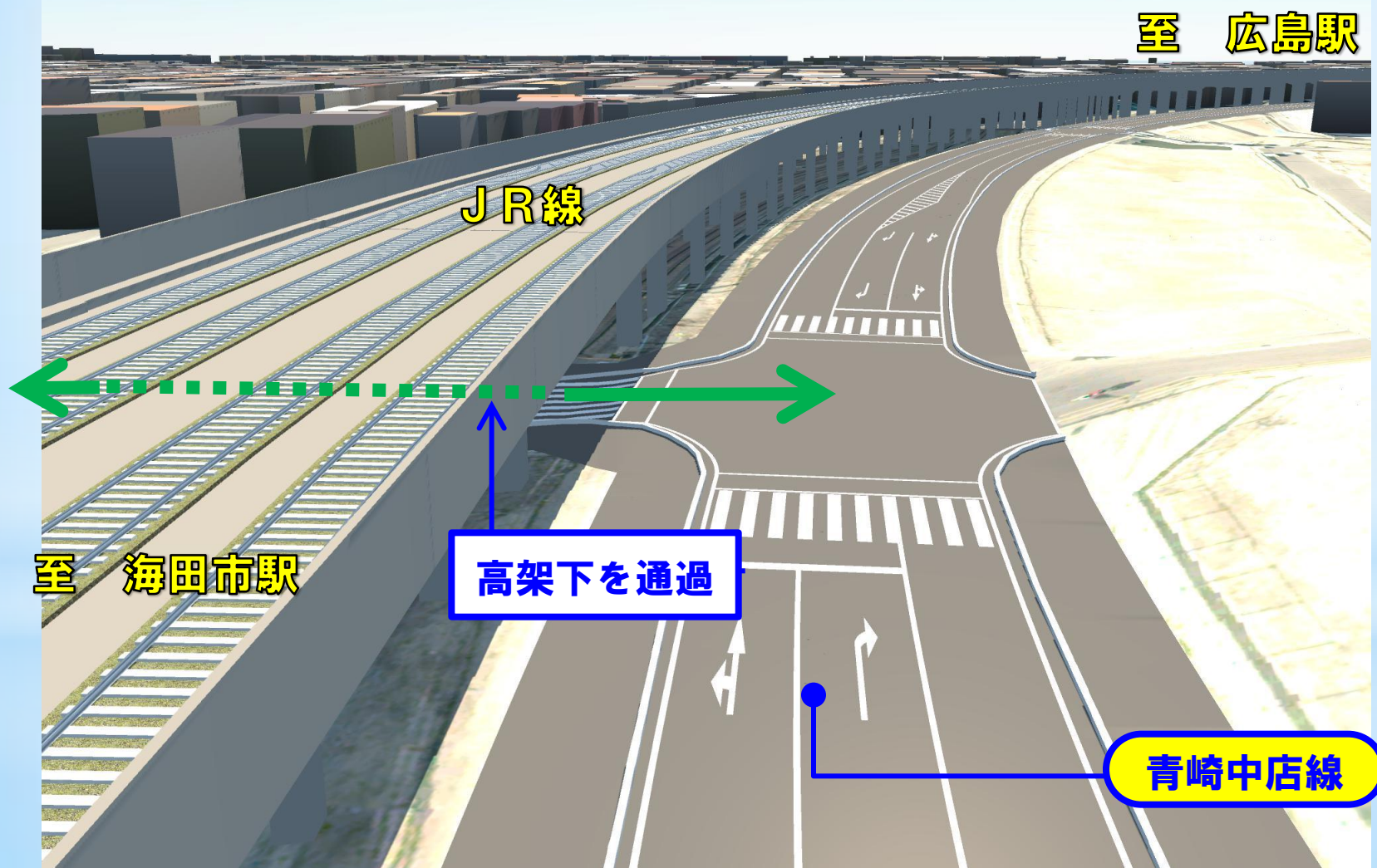


■ 向洋駅周辺



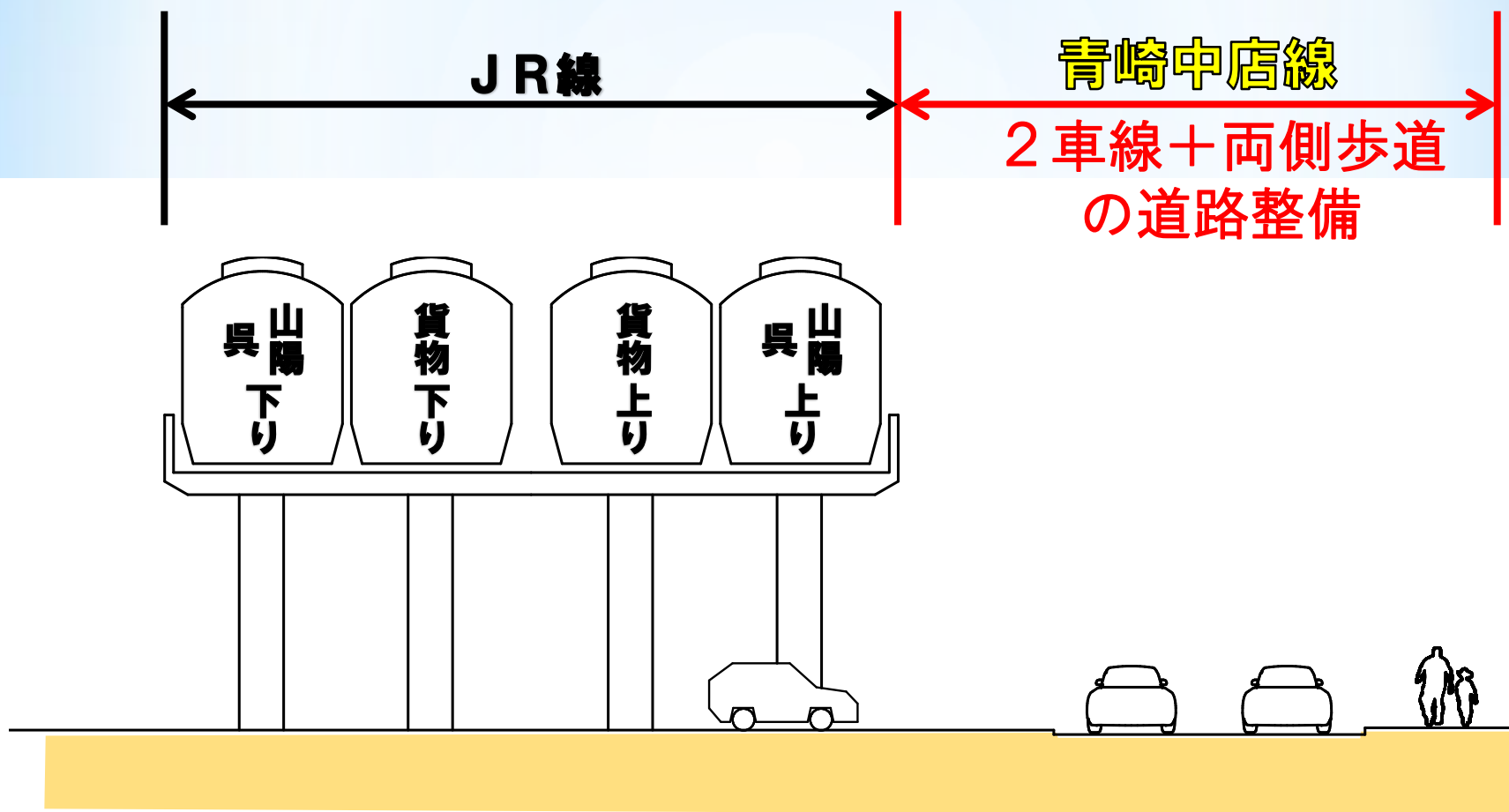
■ 青崎第3踏切付近

完成イメージ



■ 青崎第3踏切付近

断面イメージ

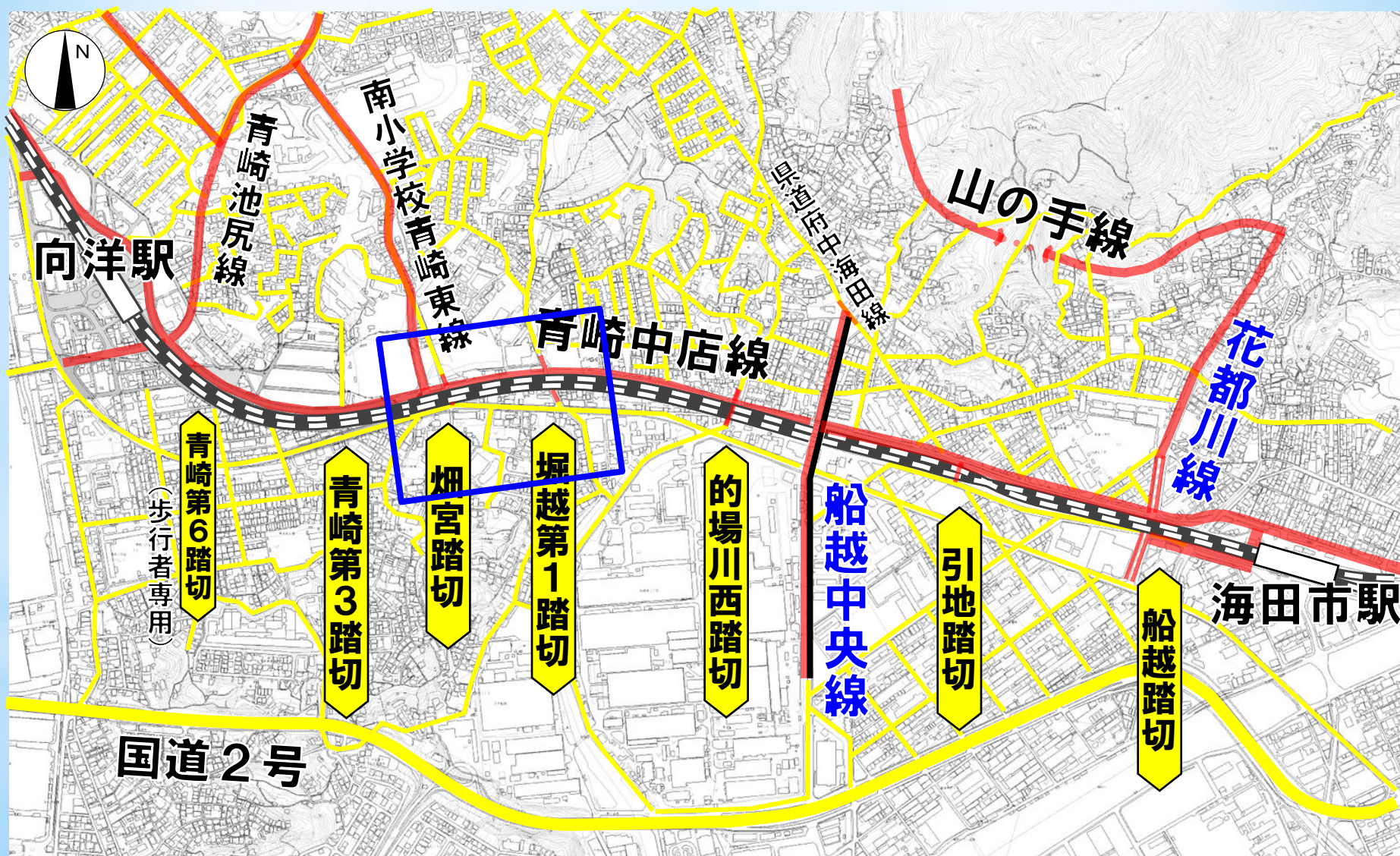


■ 向洋駅（北口）付近

完成イメージ

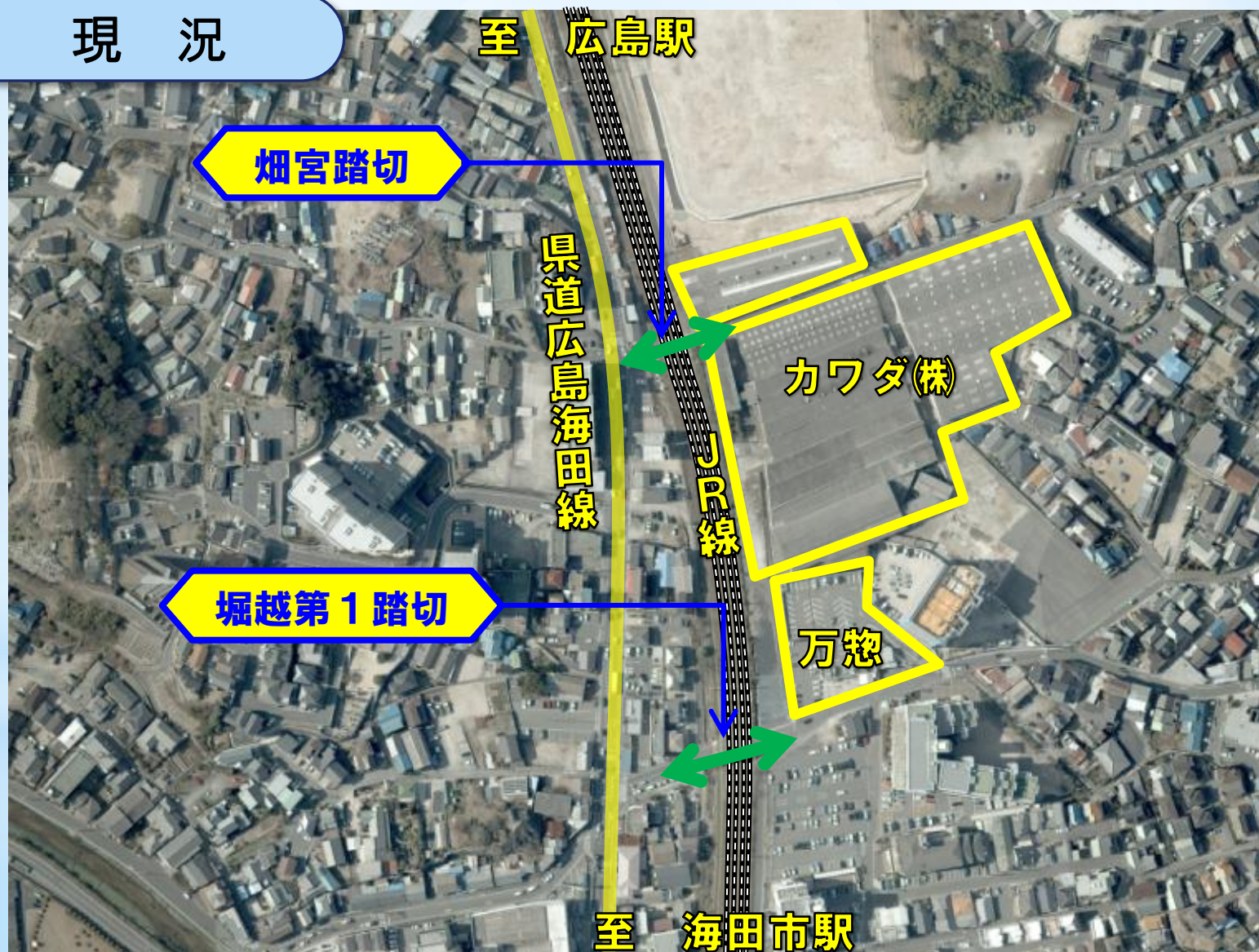


■ 東西幹線道路，跨線橋，アンダーパス



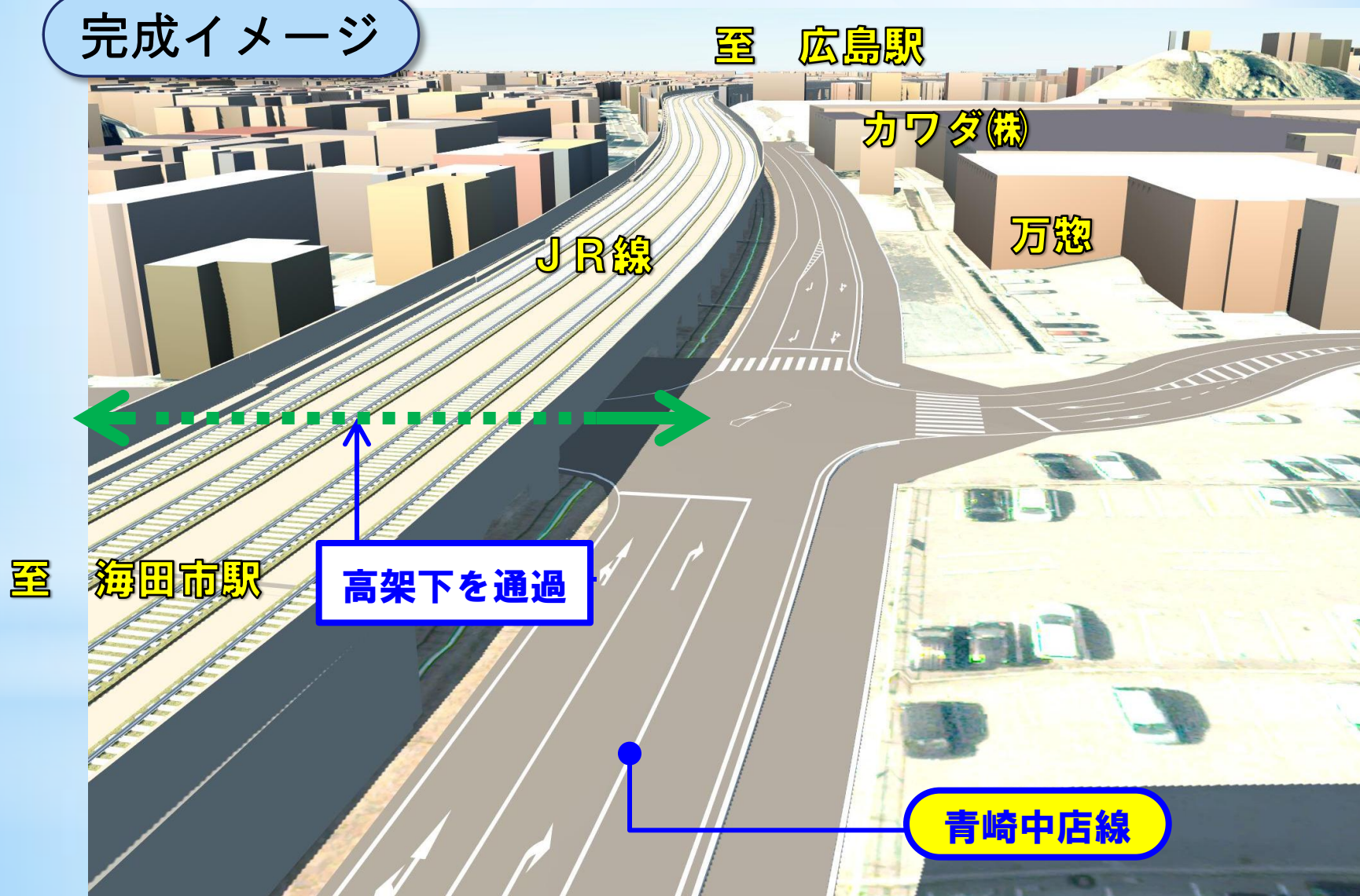
■ 堀越第1踏切付近

現 況



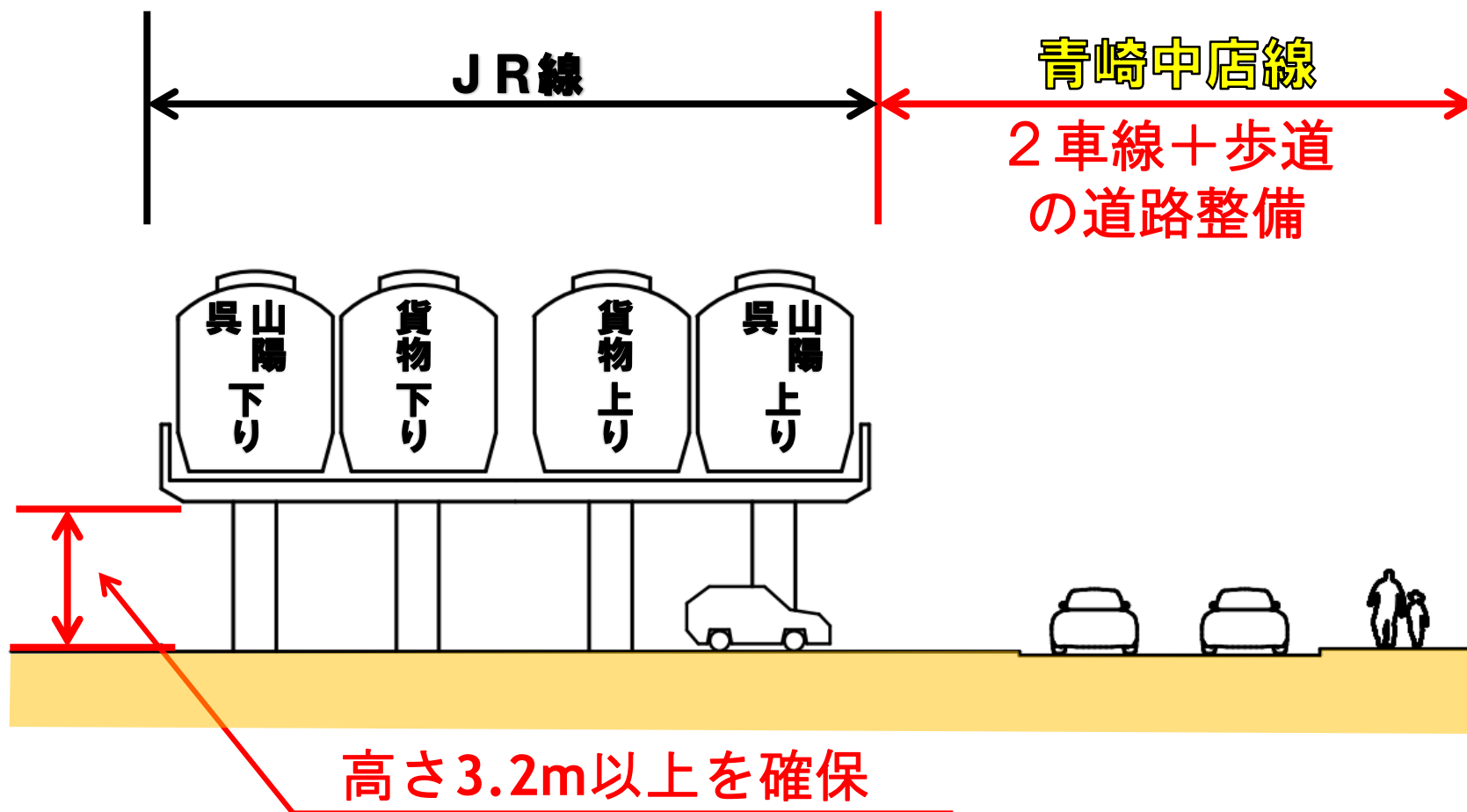
■ 堀越第1踏切付近

完成イメージ

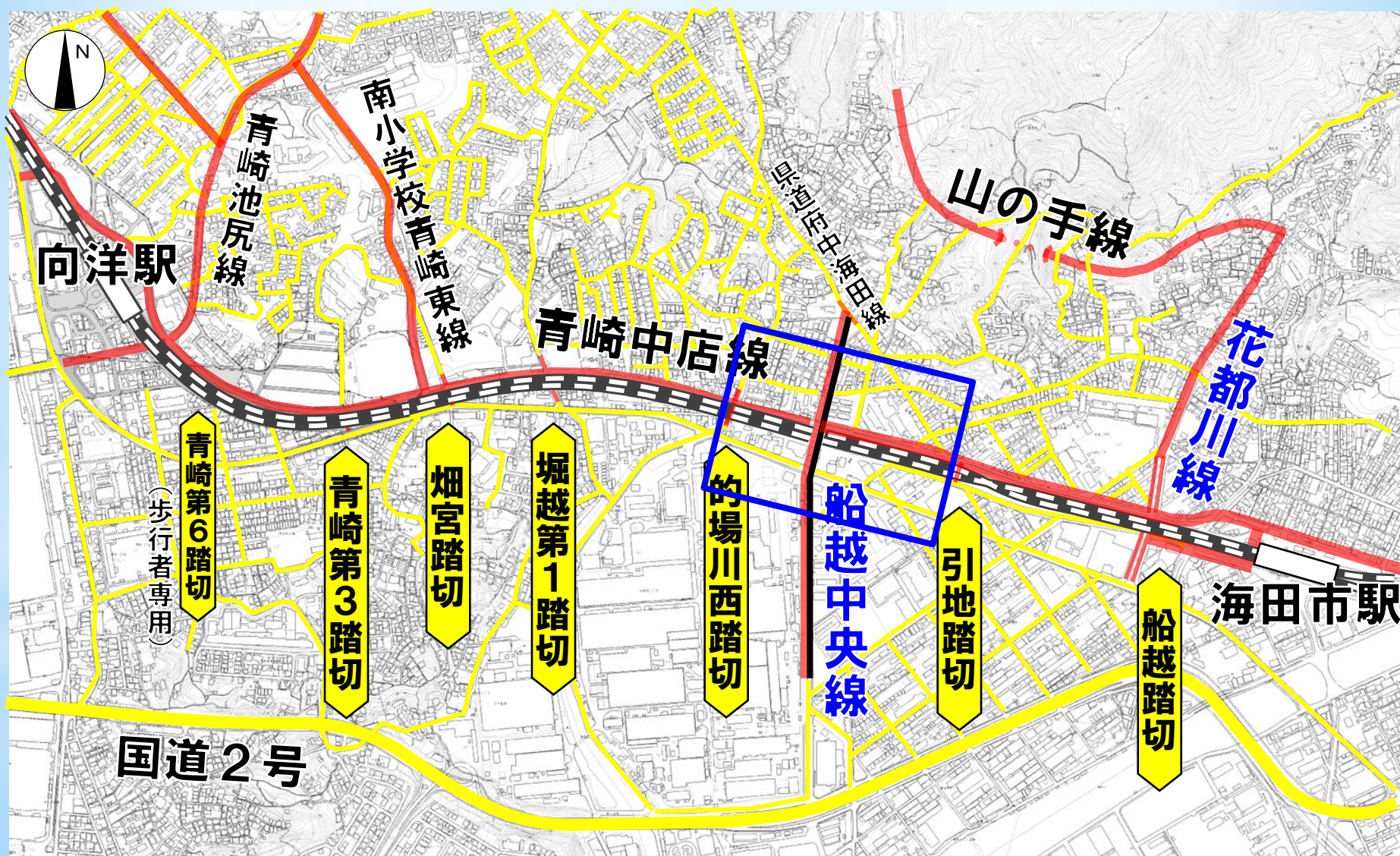


■ 堀越第1踏切付近

断面イメージ

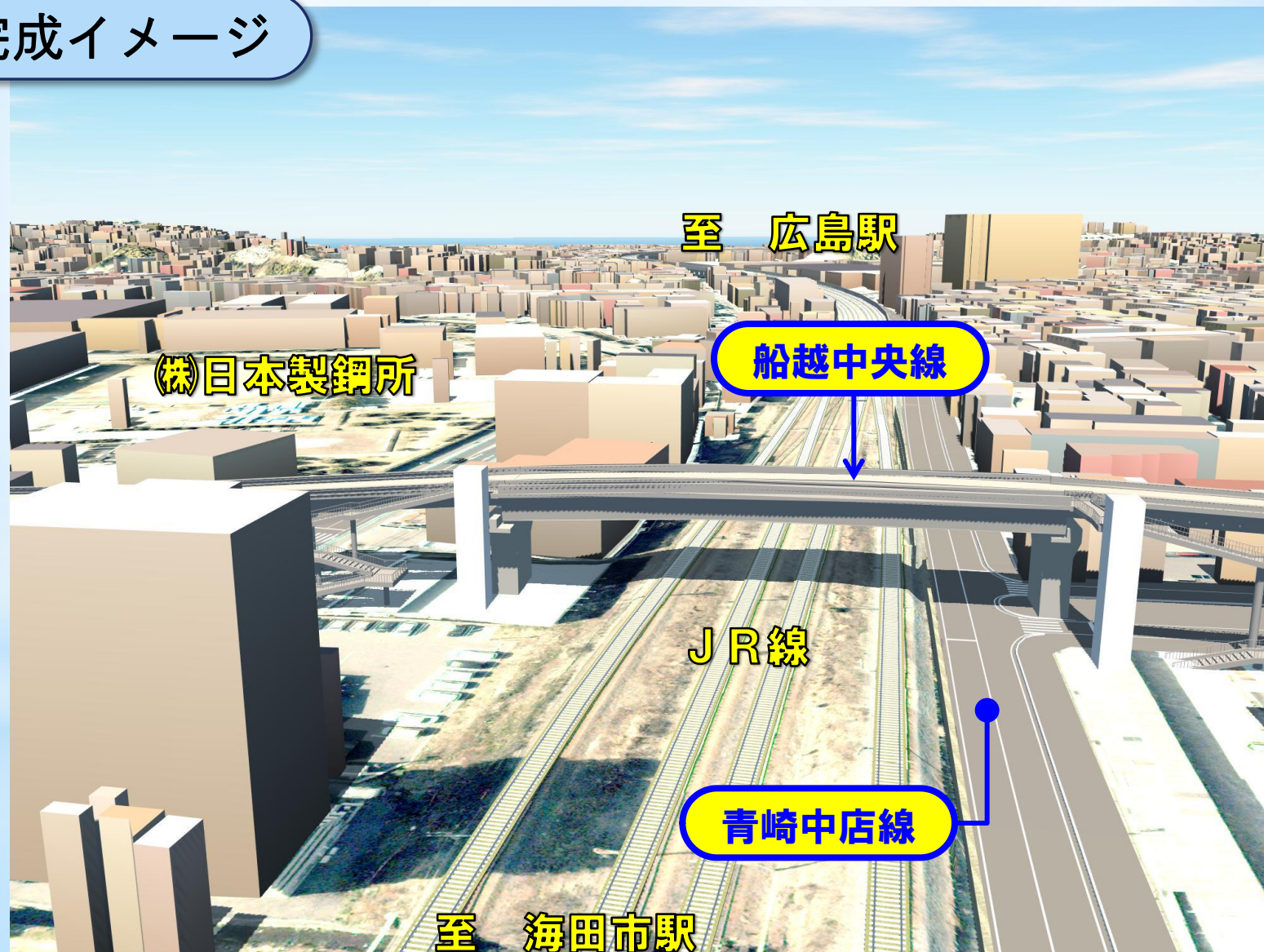


■ 東西幹線道路，跨線橋，アンダーパス



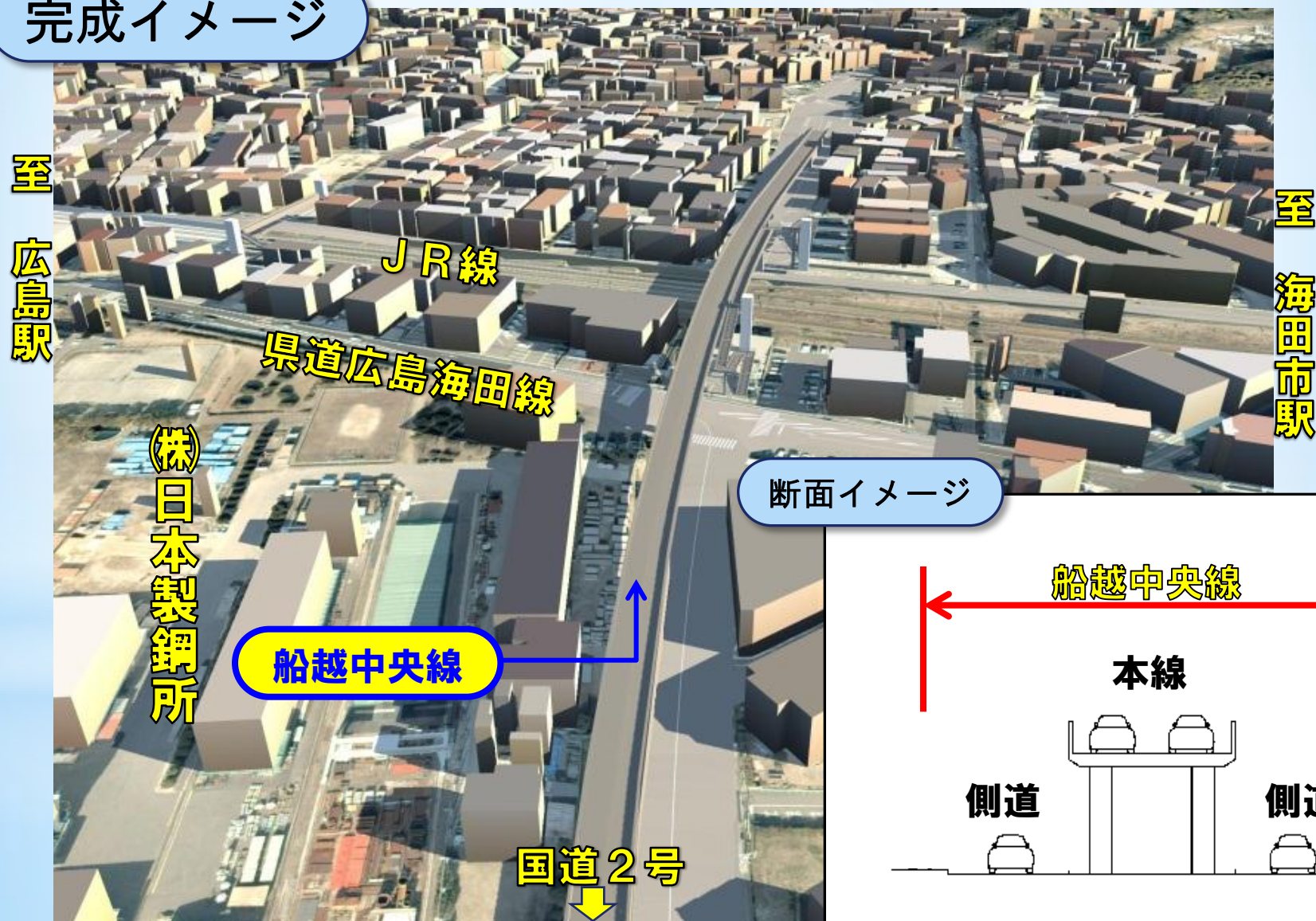
■ (株)日本製鋼所付近

完成イメージ

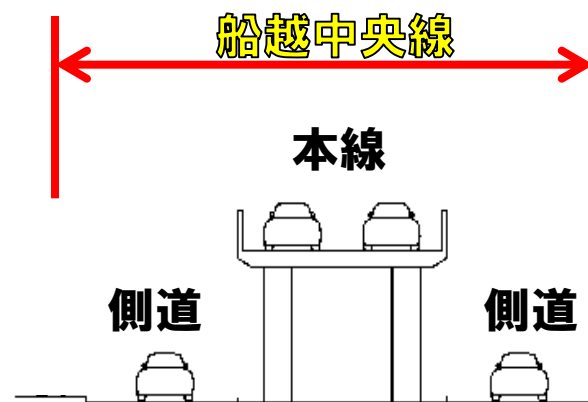


■ (株)日本製鋼所付近

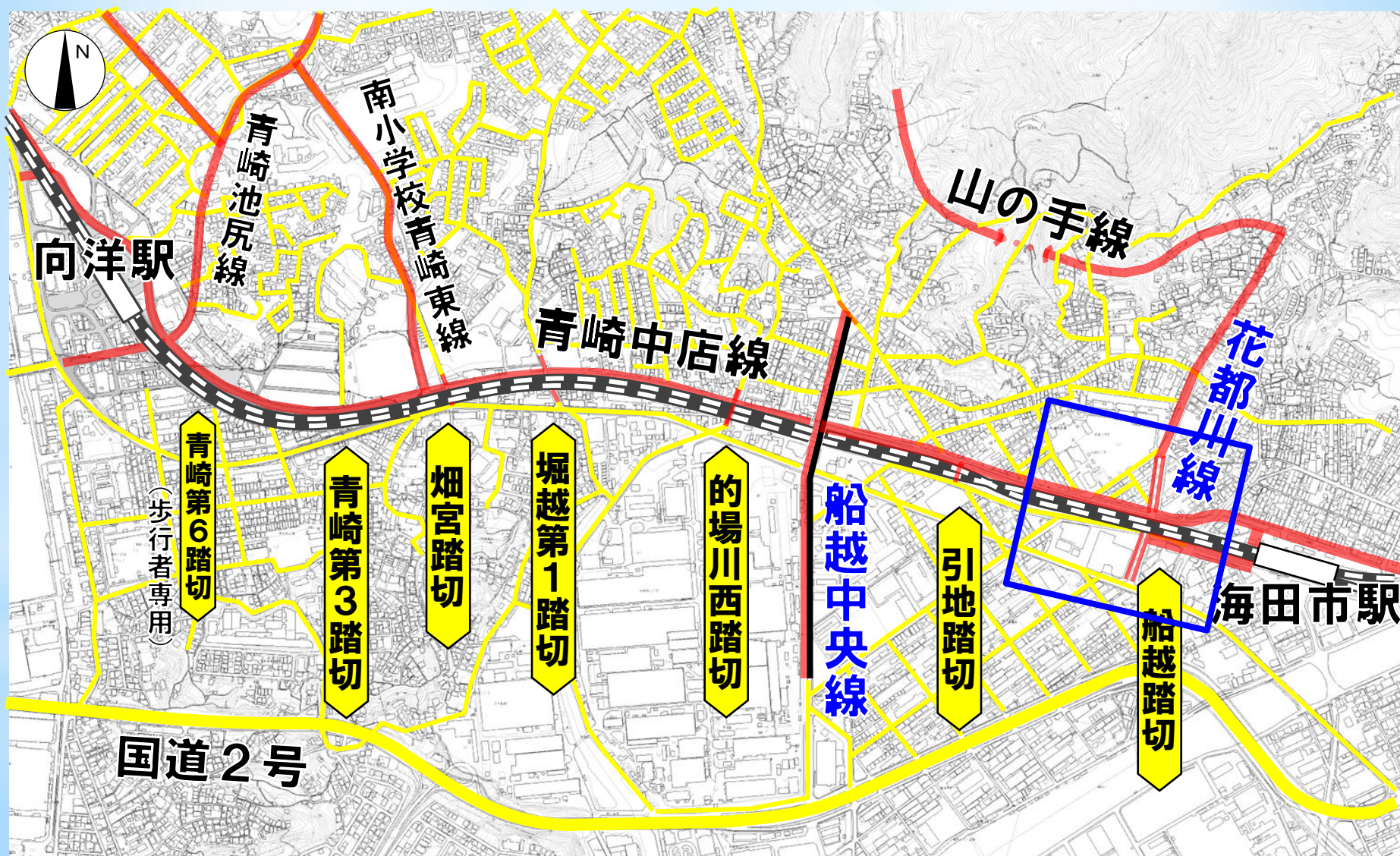
完成イメージ



断面イメージ

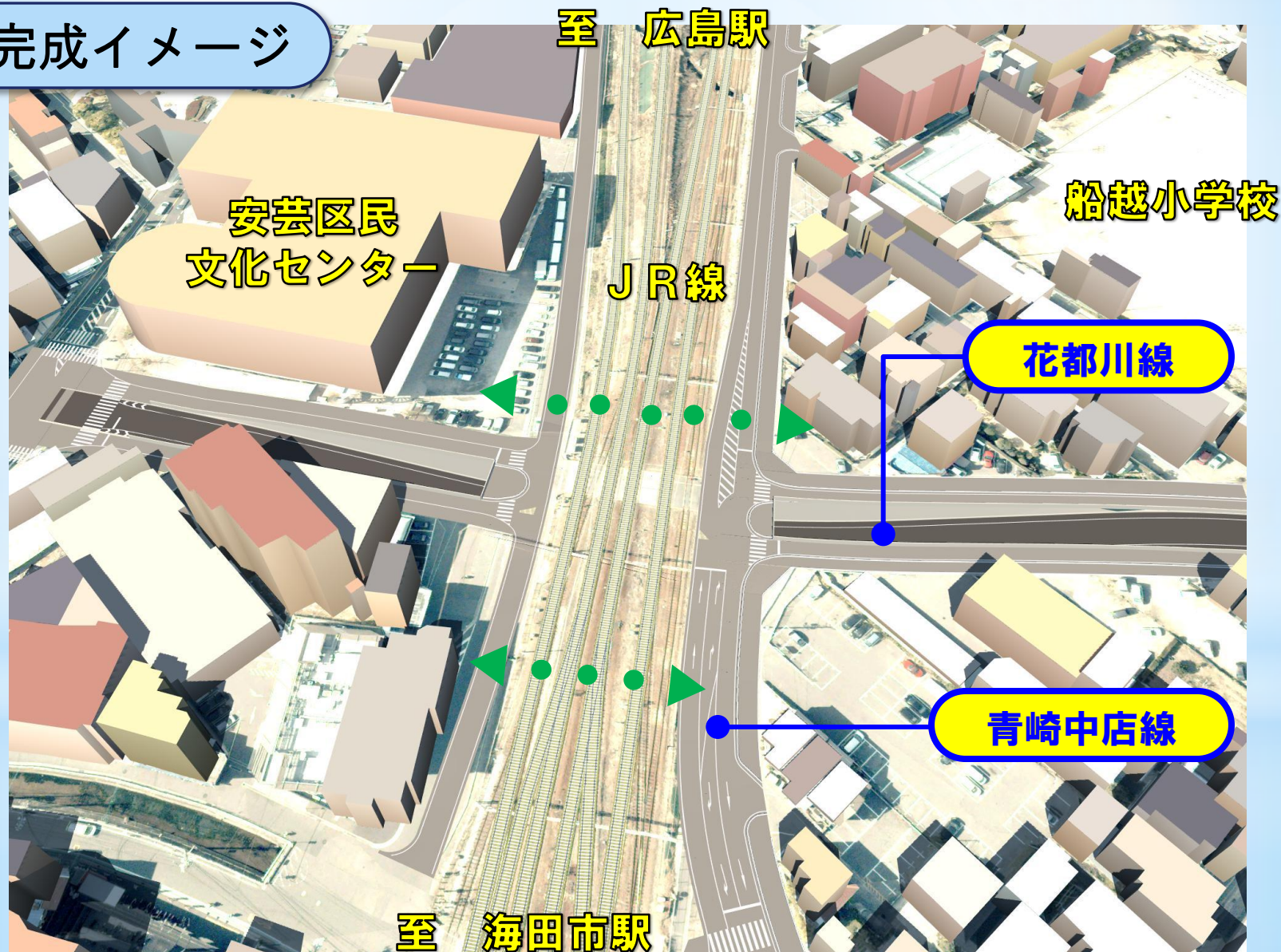


■ 東西幹線道路，跨線橋，アンダーパス



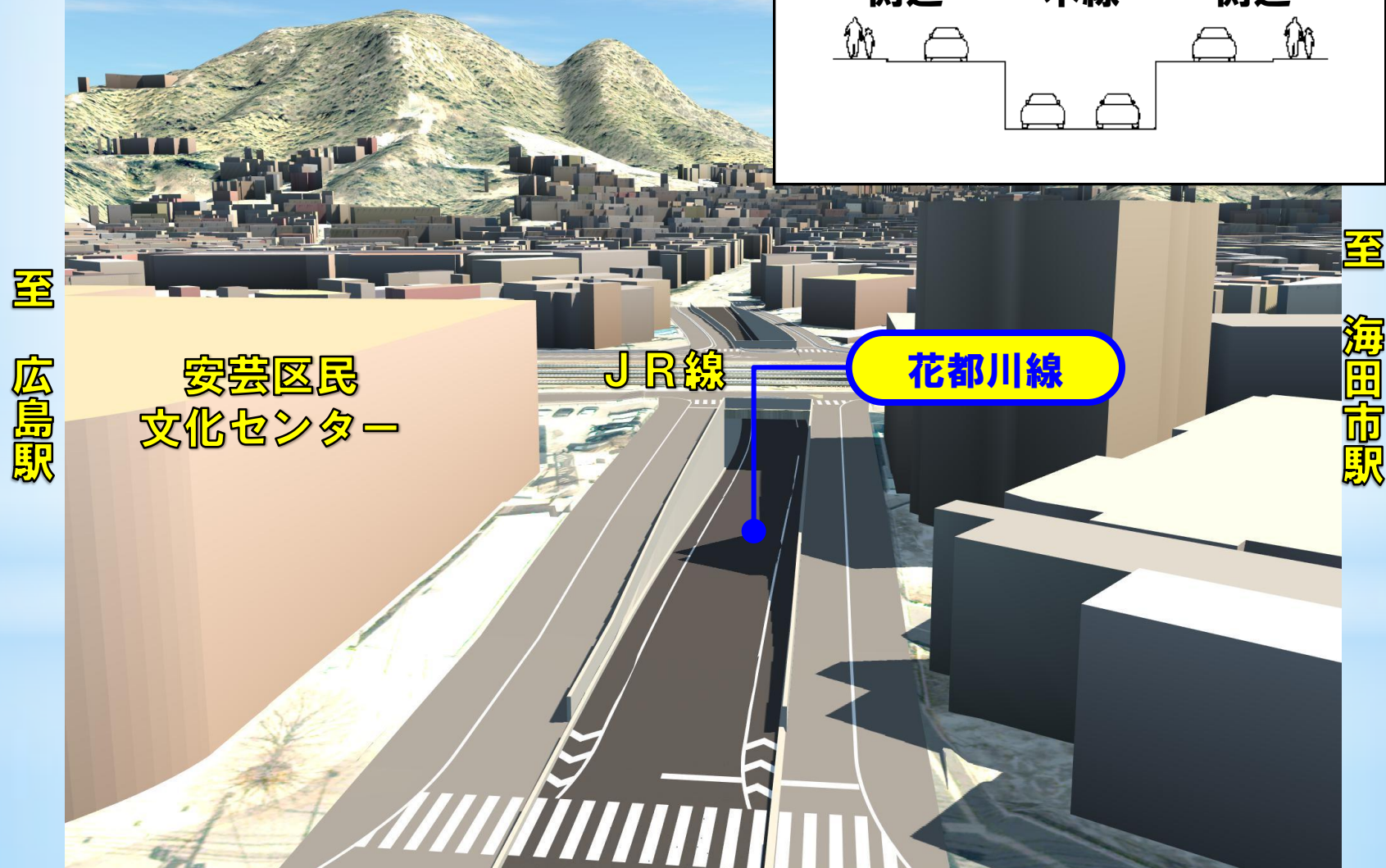
■ 船越踏切付近

完成イメージ



■ 船越踏切付近

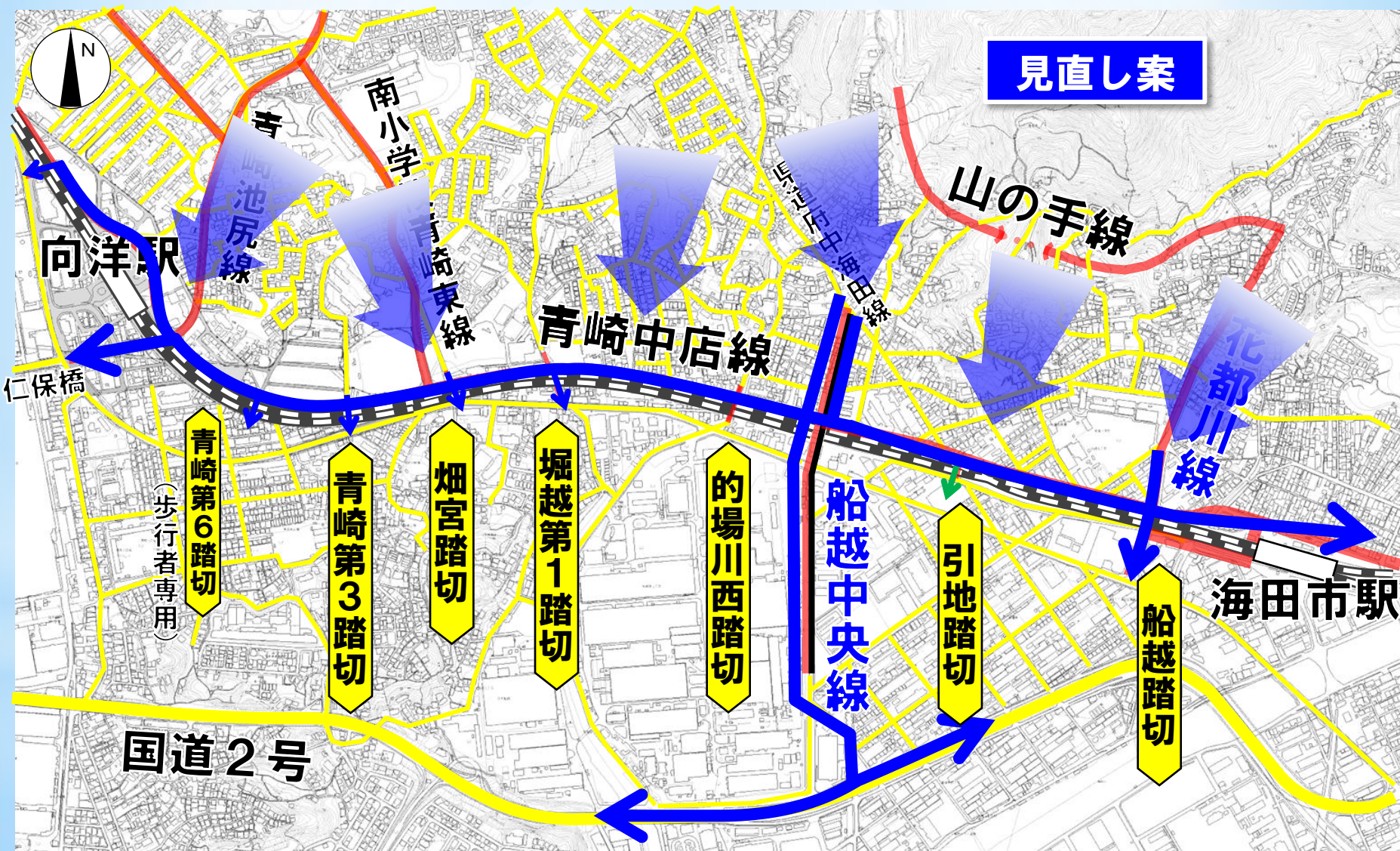
完成イメージ



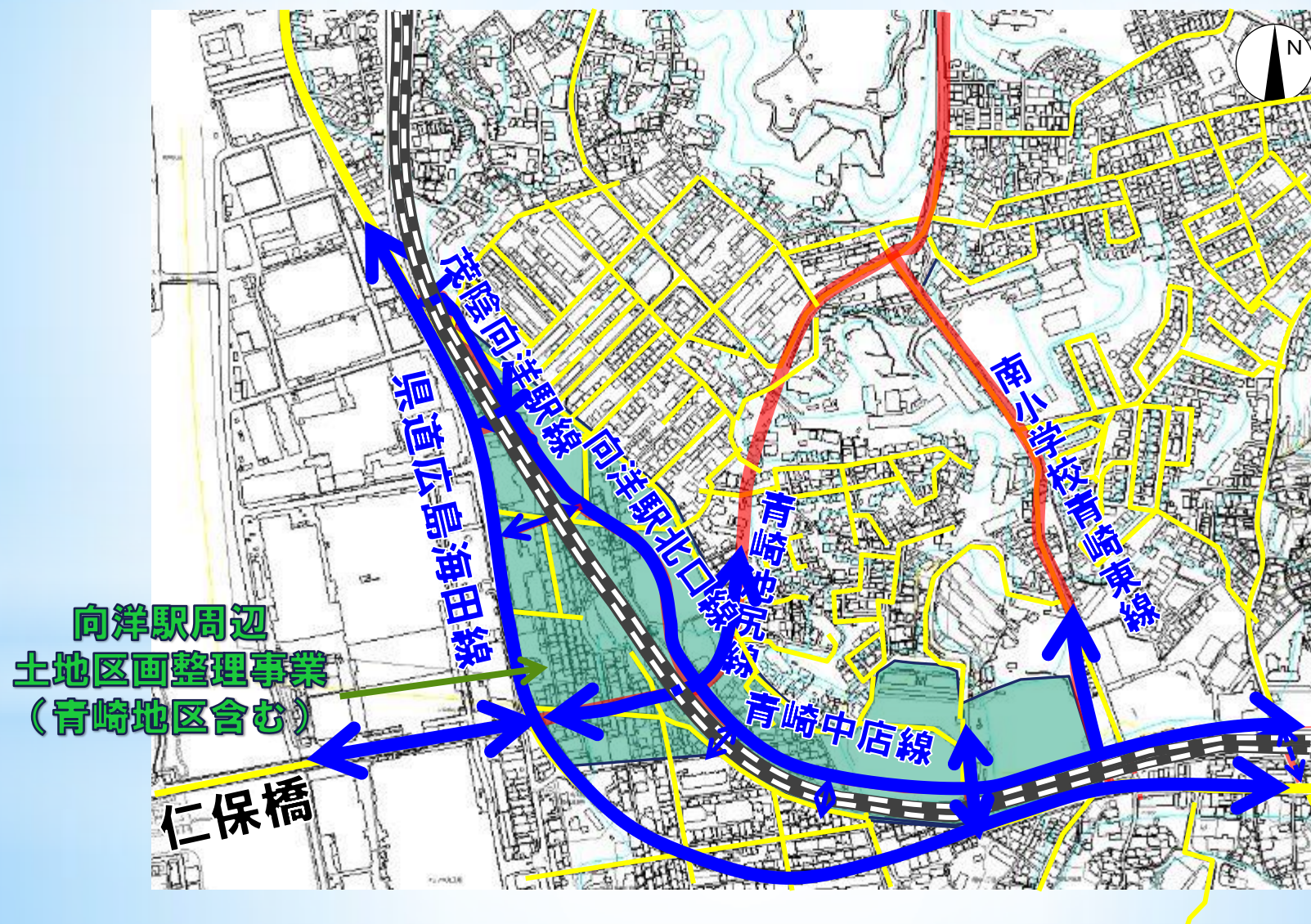
断面イメージ



■ 南北市街地の将来の経路イメージ



■ 向洋駅周辺の将来の経路イメージ



■ 今後の進め方

当事業の見直し検討に当たっては、見直しの視点を基本に、引き続き関係する皆様と十分に協議を行いながら、県・市連携し、早期に事業効果を発現していくことが重要であると考えています。

また、残る踏切については、引き続き関係者と協議し、安全性・利便性の確保に努めていきます。

今後、地元住民等への説明や関係機関との協議・調整を踏まえ、できるだけ早期に見直し案を確定していきます。